

地域の皆様
保護者様

さいたま市立大谷小学校
校長 馬場 智哉

「令和7年度 大谷小学校の教育活動に関するアンケート」 の結果とその考察・改善策

本校では、教育活動の改善や充実を図ることを目的に、今年度も、教職員アンケートによる自己評価をはじめ、児童アンケート、保護者アンケートによる、「令和7年度 大谷小学校の教育活動に関するアンケート」を実施いたしました。また、過日、学校運営協議会委員の方々から大谷小学校の教育活動等について評価をいただきました。

保護者の皆様におかれましては、様々な視点から、これからの本校の教育活動の改善や充実を図るためのご意見を頂戴いたしましたこと、心よりお礼申し上げます。ここに、それらの内容及び結果分析と、改善に向けた具体的方策について皆様に報告いたします。今後、さらに活力あふれるよりよい大谷小学校をつくってまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 学校評価の内容

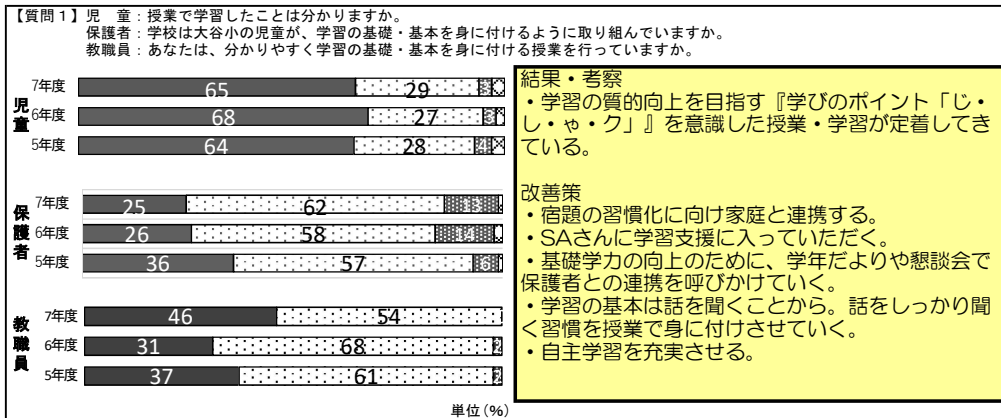
- (1)児童アンケート結果
- (2)保護者アンケート結果
- (3)教職員アンケート結果
- (4)考察と改善策
- (5)改善に向けたアクション5

2 結果・考察等

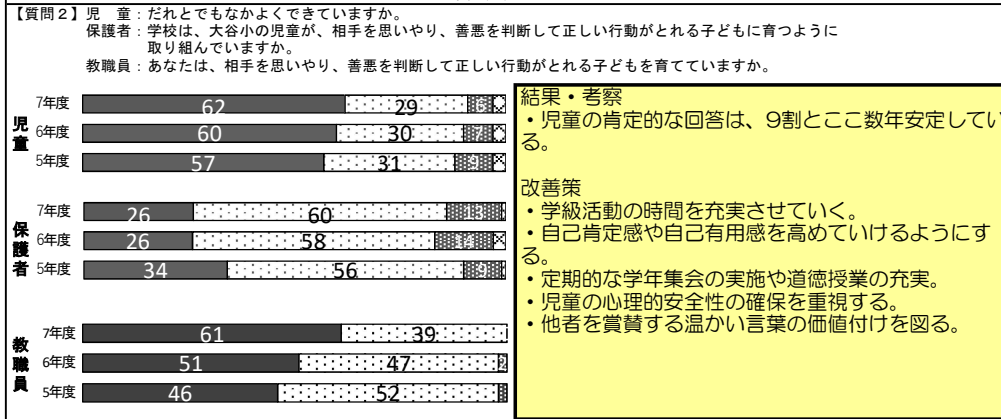
- (1)回答結果については、今年度は608件(前年度比-214件)であった。
- (2)「学力アップ(Grit)」については、児童、保護者の評価、教職員の自己評価ともにおおむね高い評価を得ることができた。学びのポイント「じ・し・や・く」を意識した授業やICTを活用した指導方法の工夫を行った。今後も、タブレット等を有効に活用した、反復学習による基礎基本の学習内容の定着を図っていくことが重要である。
- (3)「ハートアップ(Global)」については、児童、保護者、教職員ともにおおむね高評価であった。いじめの積極的認知といじめ見逃し0、教育相談体制の充実は今後はより力を入れていく。
- (4)総合的に見ると、概ね高い評価を得ているが、項目によっては、課題があるものも多い。
学校運営協議会での熟議を重ね、「地域とともにある学校」として学校が家庭、地域と連携・協働して子どもを健全に育んでいくための具体的な方策を推進していく。

3 学校の対応について

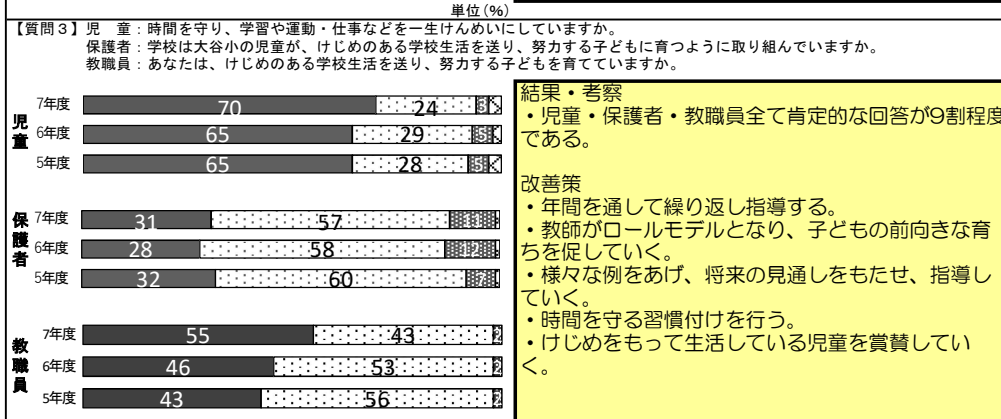
- ・今年度も「学ぶ楽しさを味わい、自ら学びに向かう児童の育成」を研究主題に学校課題研究に取り組んでいる。「自分で決めて、思考し、やってみる」というスパイラルを中心に、児童の実態に即した学習活動を工夫していく。
- ・さいたま市GIGAスクール構想に沿った指導法を研究し、学校DX部を中心に指導内容や指導方法の改善・向上のための校内研修を実施した。これを児童の学力向上につなげていく。
- ・学校評価において、「ハートアップ(Global)」に関する項目は、今後も引き続き高評価を得られるよう、児童を積極的に評価・称賛し、児童の自己肯定感、自己有用感を高められるよう、全職員で児童の心に寄り添っていく。
- ・「いじめはどの学校、学級でも起こるもの」との認識の下、担任を中心とした全職員で児童の些細な異変も見逃さない意識をもち、認知したときは、早期に組織的に解消を目指す。(いじめの積極的認知・いじめ見逃し0)
- ・児童の相談や悩み、保護者の教育的ニーズを汲み取り、児童の健全な育成を推し進める。
- ・コミュニティ・スクールをより推進し、学校の教育活動や取組をさらに積極的に発信し、家庭、地域と連携・協働して、「地域とともにある学校」「コミュニケーション力を高めよう」の取組の充実を目指す。



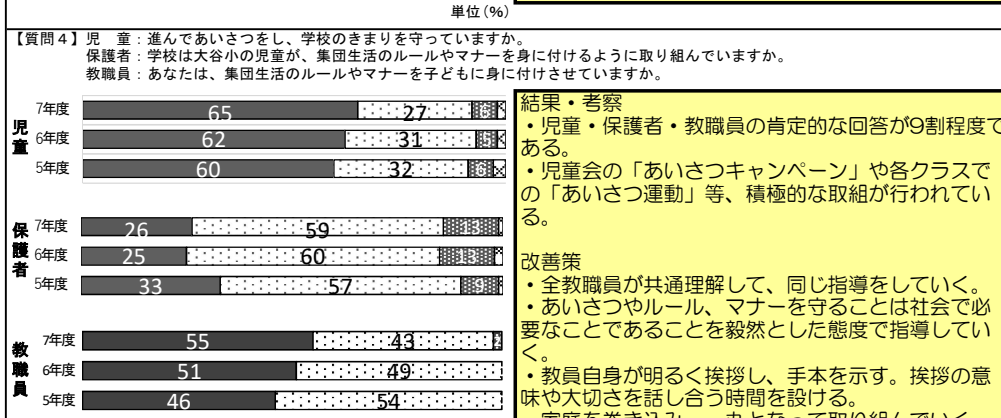
結果・考察
 ・学習の質的向上を目指す『学びのポイント「じ・し・ゃ・く」』を意識した授業・学習が定着してきている。
改善策
 ・宿題の習慣化に向け家庭と連携する。
 ・SAさんに学習支援に入っていただく。
 ・基礎学力の向上のために、学年だよりや懇談会で保護者との連携を呼びかけていく。
 ・学習の基本は話を聞くことから。話をしっかり聞く習慣を授業で身に付けさせていく。
 ・自主学習を充実させる。



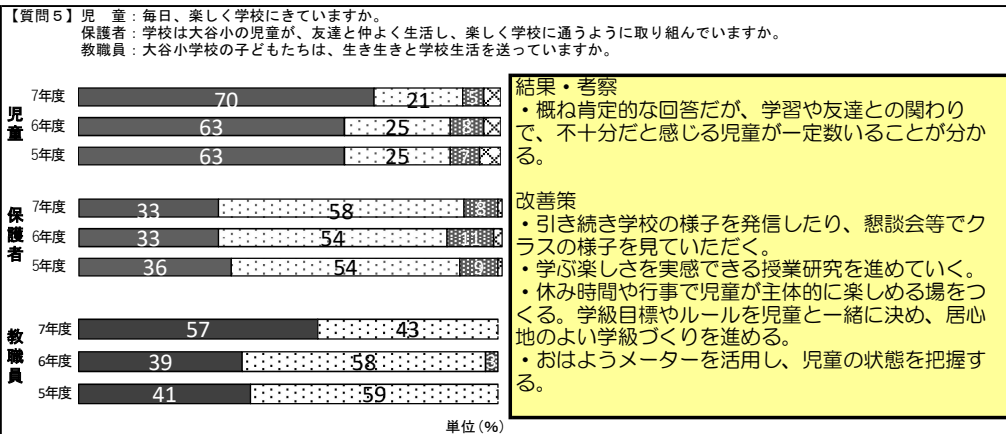
結果・考察
 ・児童の肯定的な回答は、9割とここ数年安定している。
改善策
 ・学級活動の時間を充実させていく。
 ・自己肯定感や自己有用感を高めていけるようにする。
 ・定期的な学年集会の実施や道徳授業の充実。
 ・児童の心理的安全性の確保を重視する。
 ・他者を賞賛する温かい言葉の価値付けを図る。



結果・考察
 ・児童・保護者・教職員全て肯定的な回答が9割程度である。
改善策
 ・年間を通して繰り返し指導する。
 ・教師がロールモデルとなり、子どもの前向きな育ちを促していく。
 ・様々な例をあげ、将来の見通しをもたせ、指導していく。
 ・時間を守る習慣付けを行う。
 ・けじめをもって生活している児童を賞賛していく。

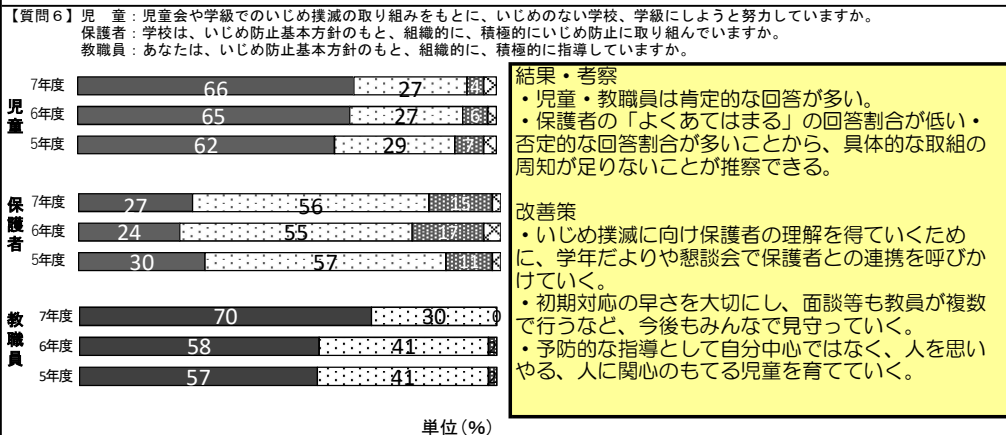


結果・考察
 ・児童・保護者・教職員の肯定的な回答が9割程度である。
 ・児童会の「あいさつキャンペーン」や各クラスでの「あいさつ運動」等、積極的な取組が行われている。
改善策
 ・全教職員が共通理解して、同じ指導をしていく。
 ・あいさつやルール、マナーを守ることは社会で必要なことであることを毅然とした態度で指導していく。
 ・教員自身が明るく挨拶し、手本を示す。挨拶の意味や大切さを話し合う時間を設ける。
 ・家庭を巻き込み、一丸となって取り組んでいく。



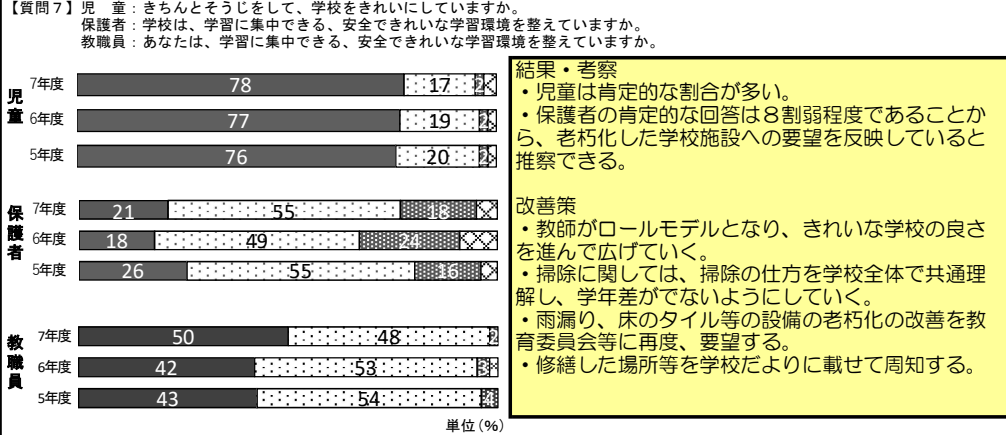
結果・考察
 ・概ね肯定的な回答だが、学習や友達との関わりで、不十分だと感じる児童が一定数いることが分かる。

改善策
 ・引き続き学校の様子を発信したり、懇談会等でクラスの様子を見ていただく。
 ・学ぶ楽しさを実感できる授業研究を進めていく。
 ・休み時間や行事で児童が主体的に楽しめる場をつくる。学級目標やルールを児童と一緒に決め、居心地のよい学級づくりを進める。
 ・おはようメーターを活用し、児童の状態を把握する。



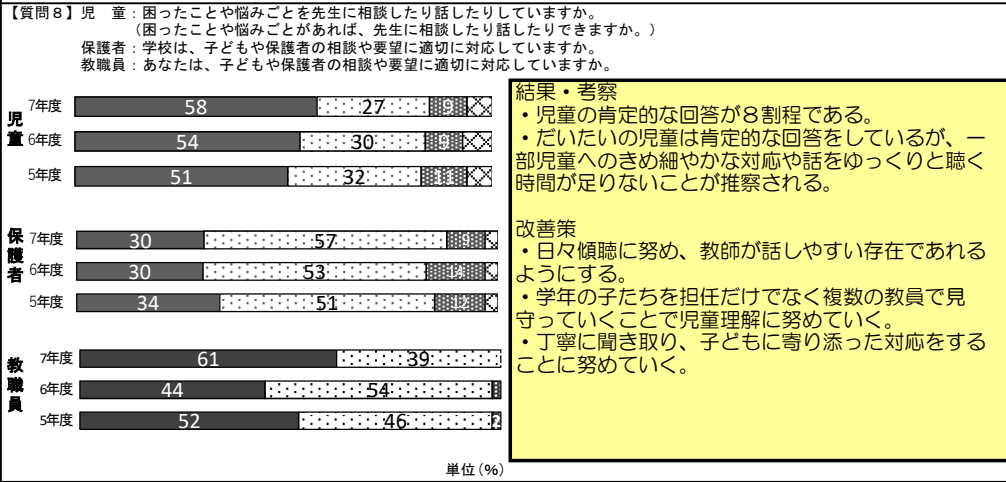
結果・考察
 ・児童・教職員は肯定的な回答が多い。
 ・保護者の「よくあてはまる」の回答割合が低い・否定的な回答割合が多いことから、具体的な取組の周知が足りないことが推察できる。

改善策
 ・いじめ撲滅に向け保護者の理解を得ていくために、学年だよりや懇談会で保護者との連携を呼びかけていく。
 ・初期対応の早さを大切にし、面談等も教員が複数で行うなど、今後もみんなで見守っていく。
 ・予防的な指導として自分中心ではなく、人を思いやる、人に関心のもてる児童を育てていく。



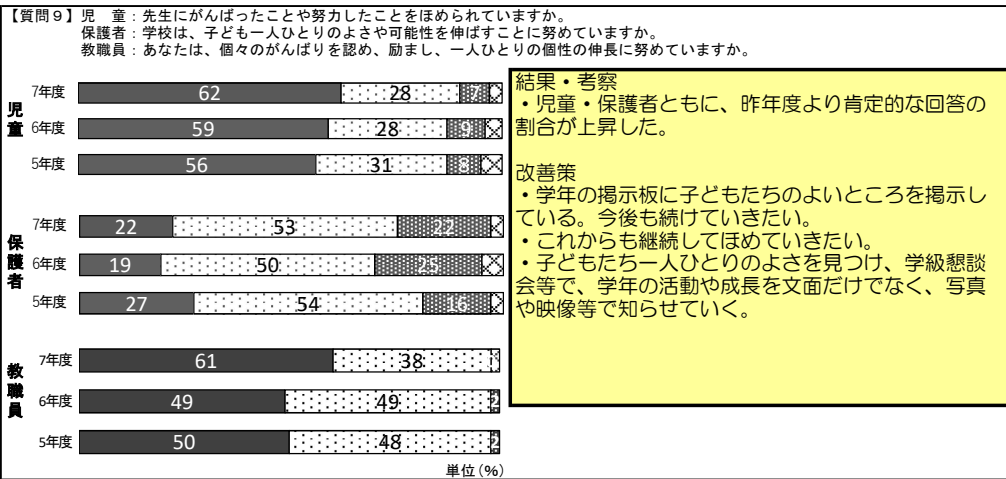
結果・考察
 ・児童は肯定的な割合が多い。
 ・保護者の肯定的な回答は8割弱程度であることから、老朽化した学校施設への要望を反映していると推察できる。

改善策
 ・教師がロールモデルとなり、きれいな学校の良さを進んで広げていく。
 ・掃除に関しては、掃除の仕方を学校全体で共通理解し、学年差がでないようにしていく。
 ・雨漏り、床のタイル等の設備の老朽化の改善を教育委員会等に再度、要望する。
 ・修繕した場所等を学校だよりに掲載して周知する。



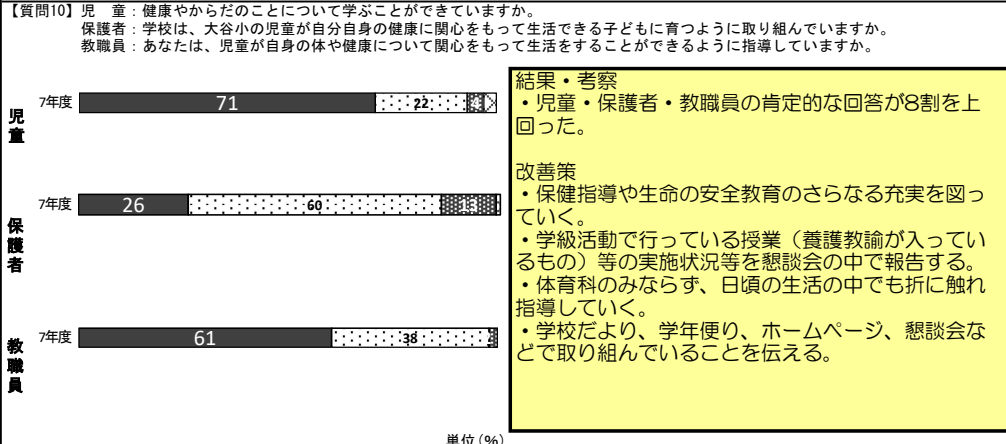
結果・考察
 ・児童の肯定的な回答が8割程である。
 ・だいたいの児童は肯定的な回答をしているが、一部児童へのきめ細やかな対応や話をゆっくりと聴く時間が足りないことが推察される。

改善策
 ・日々傾聴に努め、教師が話しやすい存在であるようにする。
 ・学年の子たちを担任だけでなく複数の教員で見守っていくことで児童理解に努めていく。
 ・丁寧に聞き取り、子どもに寄り添った対応をすることに努めていく。



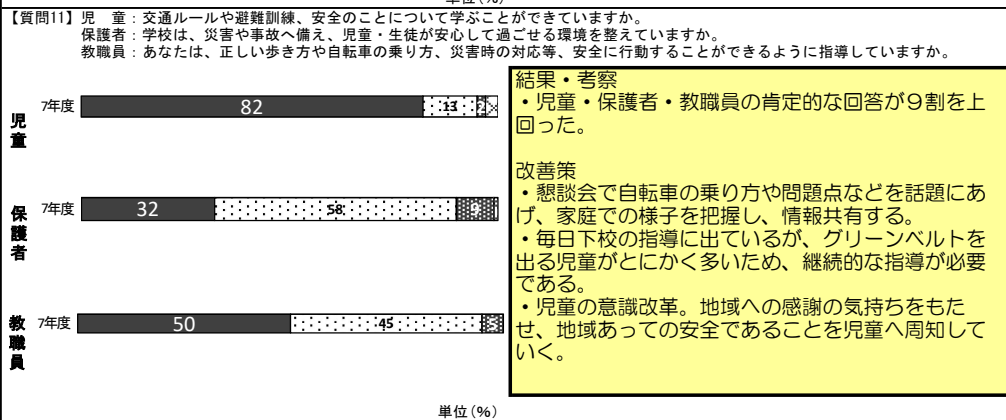
結果・考察
 ・児童・保護者ともに、昨年度より肯定的な回答の割合が上昇した。

改善策
 ・学年の掲示板に子どもたちのよいところを掲示している。今後も続けていきたい。
 ・これからも継続してほめていきたい。
 ・子どもたち一人ひとりのよさを見つけ、学級懇談会等で、学年の活動や成長を文面だけでなく、写真や映像等で知らせていく。



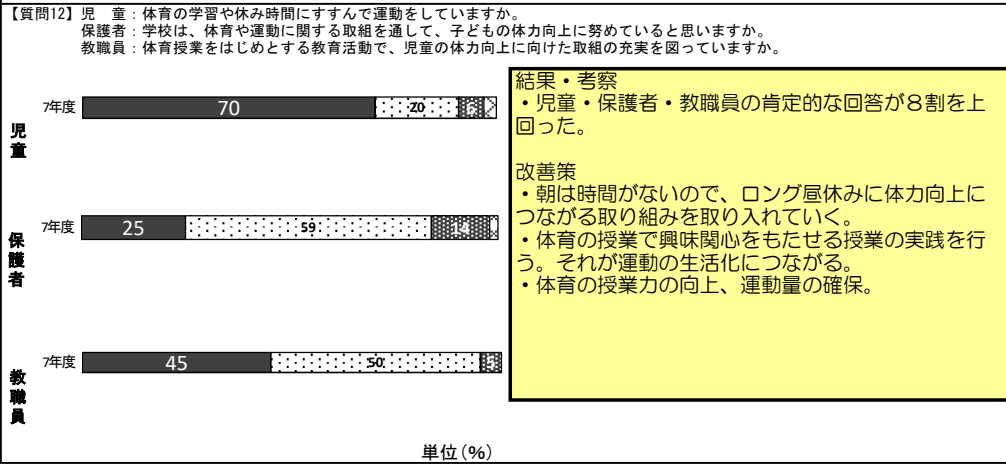
結果・考察
 ・児童・保護者・教職員の肯定的な回答が8割を上回った。

改善策
 ・保健指導や生命の安全教育のさらなる充実を図っていく。
 ・学級活動で行っている授業（養護教諭が入っているもの）等の実施状況等を懇談会の中で報告する。
 ・体育科のみならず、日頃の生活の中でも折に触れ指導していく。
 ・学校だより、学年便り、ホームページ、懇談会などで取り組んでいることを伝える。



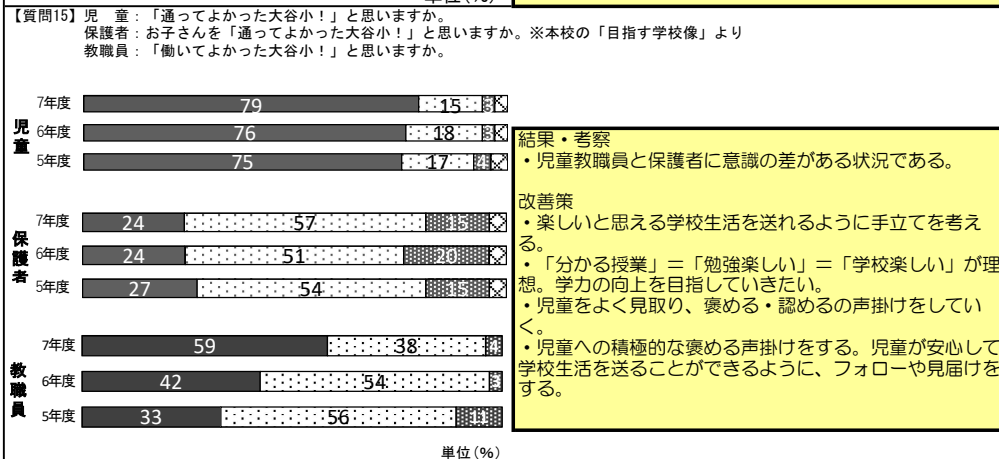
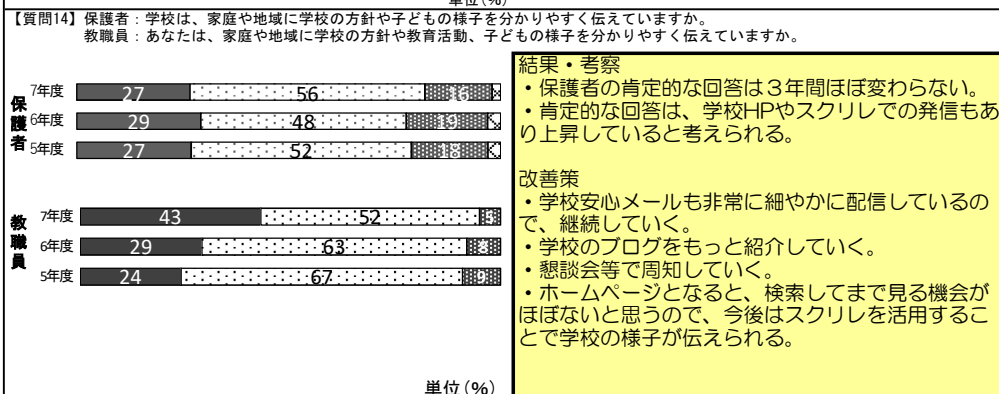
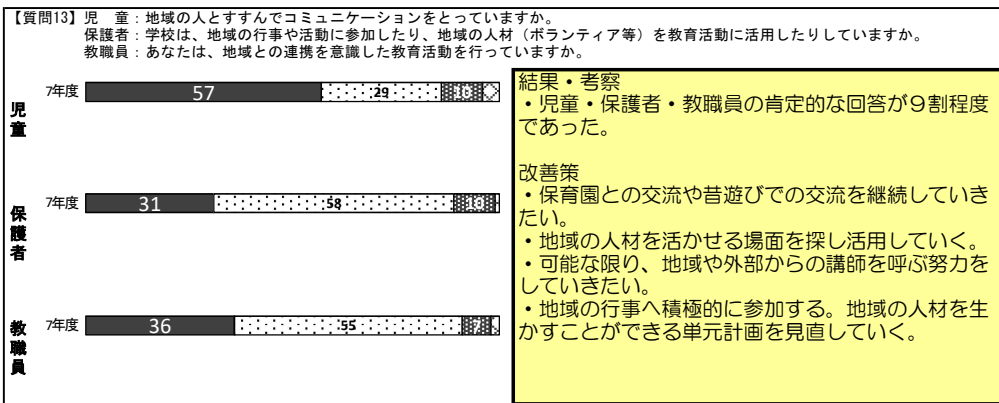
結果・考察
 ・児童・保護者・教職員の肯定的な回答が9割を上回った。

改善策
 ・懇談会で自転車の乗り方や問題点などを話題にあげ、家庭での様子を把握し、情報共有する。
 ・毎日下校の指導に出ているが、グリーンベルトを出る児童がとにかく多いため、継続的な指導が必要である。
 ・児童の意識改革。地域への感謝の気持ちをもたせ、地域あつての安全であることを児童へ周知していく。



結果・考察
 ・児童・保護者・教職員の肯定的な回答が8割を上回った。

改善策
 ・朝は時間がないので、ロング昼休みに体力向上につながる取り組みを取り入れていく。
 ・体育の授業で興味関心をもたせる授業の実践を行う。それが運動の生活化につながる。
 ・体育の授業力の向上、運動量の確保。



改善に向けたアクション5

- 1 大谷小学校は、子ども一人ひとりのよさや努力のプロセスに目を向け「ほめて伸ばす教育」をより推進し、児童の自己肯定感・自己有用感を高めます。
- 2 大谷小学校は、学習の質的向上を目指す学びのポイント「じ・し・や・く」でつながる学びの充実を図り、児童の学習意欲向上、学力の向上を目指します。
- 3 大谷小学校は、授業や行事、その他教育活動で友達や人、自然、ものと豊かにかかわる体験活動を充実させ、児童の豊かな心をはぐくみます。
- 4 大谷小学校は、家庭、地域と連携を図って「いじめ防止基本方針」「大谷小よい子のやくそく」の共通指針を行い、いじめの積極的認知、いじめ見逃しの学校を目指します。
- 5 大谷小学校は、スクリーンや学校HP等を使用した学校の情報発信や、家庭・地域からの情報収集を積極的に行い、「地域とともにある学校」としてコミュニティ・スクールの充実を図ります。